

伊唐の風

～海とひと ころろ響きあう 伊唐っ子～

令和6年度

7月

長島町立伊唐小学校

令和6年7月12日

子供の日々の小さな歩み・・・

校長 松本 浩輔

1学期もいよいよ、最終週に入ってきました。

伊唐小学校の14人の子供たちは、元気いっぱいに登校し学びを深めています。毎日の授業参観では、子供たちが真剣に学びを深めている姿に感心しているところです。

さて、現行学習指導要領では、改訂の経緯を次のように記載しています。

「今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍するころには、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。」

昨今、VUCA（予測困難な）時代の教育といわれています。生成AIの発展については、ものすごい勢いで開発が進んでいます。文章にいろいろな場面の様子を入力することによって、動画も作成することができるのです。

令和6年度からの2年間、伊唐小学校では、「探究的な学び」について研究を深めています（生活科・総合的な学習の時間を中心に）。ふるさと伊唐・ふるさと長島の郷土素材を生かした学習を展開しています。伊唐のよさ・長島のよさを生かした学習を意図的・計画的に展開することによって、他者と協働して課題を解決していくことの大切さ、共に学ぶ仲間がいることで情報収集や分析ができることの学習のよさを実感することができると思います。

1学期は、体験学習（フィールドワーク）を大切に学習を多く展開し、子供たちに「わくわく・ドキドキ」感を感じさせるようにしました。すべての学習の基本は、子供たちの「やってみたい」「分かるようになりたい」という好奇心と意欲です。教室を飛び出し、取材や見学をすることによって新たな課題を構築し、伊唐のよさ・長島のよさを実感しているところです。



上の写真は、「まちが大好き探検隊」ということで、1・2年生が校区探検に行き、探検をして知ったことの共有後、新たな取材ということで、たくさんの発見や疑問の解決を行っているところです。取材の仕方など、1年生も上手にできるようになってきました。

74日間の1学期も終わります。14人の子供たち、それぞれが大きく成長し素晴らしい力を発揮することができました。自慢の子供たちです。

授業参観・親子ふれ合い活動

6月8日（土）に授業参観・親子ふれ合い活動を行いました。

親子ふれ合い活動では、町教育委員会社会教育課の方々にニュースポーツ「ポッチャ」を教えていただき、親子で楽しみました。家族対抗戦では応援にも力が入り、スポーツを通して親子の交流を深めることができました。



花いっぱい運動

6月11日（火）、老人会の方々と一緒に花いっぱい運動に取り組みました。きれいなお花が咲いてほしいと、一生懸命作業に取り組みました。



生活目標：規則正しい生活をしよう
保健目標：健康で安全な生活をしよう

今年も、老人会の方々といっしょに花を植えたことがうれしかったです。わたしは花が大好きです。学校の登下校の時に「花の成長」を見ていくことがとても楽しみです。

（4年）

集団宿泊学習

7月3日（火）～5日（木）、5年生は鷹巣小学校の5年生と合同で、集団宿泊学習に行ってきました。天候の関係で残念ながらテント泊はできませんでしたが、野外炊飯やウォークラリー、せんだい宇宙館での天体観測など体験学習を行うことができました。「不自由との出会い」いつもとは異なる環境で、友達と過ごした3日間、とても素敵な思い出となったようです。



これまではおばあちゃんにご飯を早く・早くと言っていました。この3日間でご飯を作ると、とても大変でした。これからはご飯作りのお手伝いもがんばりたいです。

（5年）

子ども保健会議

7月9日、子ども保健会議を行いました。保健会議では、養護教諭の下舞から伊唐小学校の保健面での現状やメディアとの適切な関わり方について説明を行いました。メディアとのかかり方では、親子でメディアの利用時間について考え、話し合いながらルールを決めることができました。夏休みは、家庭で決めたルールを守って実践していきましょう。

また、町民保健課の管理栄養士住吉さんに食育について講話いただきました。クイズ形式で「バランスのよい食事の大切さ」について考えることができました。

